



HABA NEWS

メディカルはば伊豆高原 通所リハビリテーション

介護予防通所リハビリテーション

TEL : 0557 - 33 - 1231 FAX : 0557 - 33 - 1232

通 32 号



2021年1月



新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。

旧年は、コロナ禍という今までにない世界的な環境変化から、様々なことに変化があった年になりました。当通所においても常にコロナウイルスの新たな感染リスクとの闘いがあり、サービスの変更や感染予防対策の対応についてたくさんご迷惑をおかけしました。そのような中、ご利用いただいているご利用者様、ご家族様のご協力のおかげで、無事新年を迎えることができました。スタッフ一同、感謝申し上げます。今年はコロナウイルスが収束する事を願い、感染予防対策を徹底して行い、ご利用者様やご家族様が安心して利用出来るようにスタッフ一丸となって努めたいと思います。また、皆様にもご協力いただきコロナウイルスに負けず、笑顔の絶えない通所にしたいと思います。今後とも皆様の一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

サービス提供責任者 尾藤 知宏

当通所での感染予防策

皆様、年末年始はいかががお過ごしでしたか？

今年はコロナ禍の中、家族の帰省などを我慢し今までとは違う形でお正月を迎えられた方も多かったのではないかと思います。当たり前のように出来ていた事が出来なくなってしまったと感じることの多かった1年でしたが、それと同時に感染症予防について沢山考えさせられた年でもありました。当通所リハでも感染症対策については、変更するたびにお知らせをさせていただいておりますが今回改めて行っている対策の一部をご紹介します。

① 職員はフェイスシールド・マスクの着用②送迎車や体操などで使用した道具の消毒③おやつのはきはきせず、昼食時に提供〈マスクを外す機会を減らしリスク軽減を目的としています〉④一日に3回の検温 etc..1日のスケジュールも見直し、ご利用者様に手洗い・うがい・消毒の時間をゆとりを持って行っていただくよう設定しております。又、寒い時期ですが皆様が風邪を引かないよう暖房器具を駆使しながら常に換気をしております。そのためフローアは寒い状態になりますので上着やひざ掛けを持参し調節して頂きたいと思っております。

佐藤 有香

除菌あれこれ

快適で健康な暮らしのために、身の回りは清潔に保っておくことが大切ですが、製品によって『除菌』『抗菌』『殺菌』など表現が違うので、これらの言葉の意味や違いは何でしょう。この3つの言葉のうち『殺菌』だけは薬機法によって効果が認められた医薬品または医薬部外品にしか使えません。一方、『除菌』や『抗菌』という言葉には規制がなく、洗剤など雑貨品にも使える言葉です。

『除菌』『抗菌』『殺菌』の違いと意味 ◎「殺菌」の意味は、言葉のとおり「特定の菌を殺す」ことです。とくに菌の種類や数は問いません。すべての菌を殺さなくても、数が減れば殺菌といえます。市販薬や薬用せっけんのパッケージなどで目にすることが多いです。◎「除菌」の意味は、菌を取り除くことです。「殺菌」することも除菌に含まれますが、医薬品や医薬部外品以外では「殺菌」を謳えないので、この表現を使います。製品としては食器用洗剤や洗濯用洗剤などがあります。◎「抗菌」の意味は、「菌の増殖を抑制する」こと、つまり菌が住みにくい環境をあらかじめつくることを意味します。殺菌や除菌のように、直接菌を殺したり取り除いたりする効果ではなく、菌の増殖を抑制・阻害することを行います。最近では便座や靴下、台所スポンジなど抗菌効果を謳う抗菌グッズが増えています。☺

知っておきたい「滅菌」と「消毒」

医薬品・医薬部外品だけに使える言葉として、「殺菌」のほかに「滅菌」と「消毒」という言葉もあります。◎ 滅菌とは、「あらゆる菌を殺菌する」ことで、とても強力です。日常生活ではあまり耳にする機会はありませんが、病院での手術器具や注射には滅菌が必要とされます。◎ 消毒とは、細菌の活動を弱める事。生存する微生物の数を減らすために用いられる処置法で、必ずしもすべて殺滅したり除去したりするものではありません。（※富士フィルム『除菌』『抗菌』『殺菌』とは？違いを分かりやすく解説より引用）このように、効果や法律によっていろいろな言葉が使分けられていますね。その言葉から受けるイメージと実際の効果もこうやって興味を持ち調べないと、正しく理解出来なかったし、今後適切な対策グッズを使用しようすることも出来なかったと思います。なんとなくではなく皆さんの安全・安心を守る為しっかり勉強したいと思います。

尾藤 知宏



クリスマス会の報告



2020年のクリスマス会はコロナ禍にてすべてが予定外でした。ボランティアさんは招待せず、おやつ時のクリスマスケーキを中止し、クリスマスコンサート（音楽療法）はなるべく声を出さずに、職員の劇はフェイスシールドを付けて、それでもクリスマス会を中止にしてしまうのは寂しいし、少しでもご利用者様に楽しんでもらいたいという皆の気持ちで出来る限りのクリスマス会を開催しました。今年の職員の出し物は写真でお分りの通り！『水戸黄門』の劇です。あの徳川の家紋はもしかして、印籠なのか？といった劇を職員皆でアドリブを交え演じました。小道具なども自作し（かつらは新聞紙でつくりました。）衣装なども頑張っ揃えました。劇の評価については様々ですが(^^;) また頑張りたいと思います。今年もちろん、サンタさんとトナカイさんはご利用者様のもとへ登場し、ささやかですがプレゼントさせていただきました。来年のクリスマス会はコロナも収束し、楽しいクリスマス会を提供できることを祈ります。

クリスマス係

